

6. 申請書 18 (血圧 mmHg) は、血圧の測定値を右詰めで記入して下さい。

(記入例)

18 血圧 mmHg					
収縮期			拡張期		
1	1	9		7	5

7. 申請書 19 (遠見視力) は、次のとおり記入して下さい。

(1) 裸眼視力は、検査結果が 0.1 以上の場合は左詰めで小数点以下第 1 位まで (第 2 位以下切り捨て)、0.1 未満の場合は小数点以下第 2 位まで (第 3 位以下切り捨て) を記入すること。

(2) 矯正視力は、右詰めで小数点以下第 1 位まで (第 2 位以下切り捨て) を記入すること。

(3) 常用眼鏡は、球面レンズの種類を「-」又は「+」で記入し、屈折度を等価球面度数によって算出し、右詰めで小数点以下第 2 位まで (第 3 位以下切り捨て) を記入すること。

なお、コンタクトレンズを使用する者については、予備眼鏡の屈折度について算出し、その数値を記入してもよい。

(計算例)

$$\textcircled{1} S - 0.5^D \textcircled{C} y 1 - 0.75^D A 90^\circ = -0.5 + (-0.75 \times 1/2) \quad \text{※}$$

$$= -0.875^D \quad \approx \quad -0.87^D$$

$$\textcircled{2} S + 2.00^D \textcircled{C} y 1 + 0.5^D A 180^\circ = +2.00 + (+0.5 \times 1/2) \quad \text{※}$$

$$= +2.25^D$$

$$\textcircled{3} S + 1.00^D \textcircled{C} y 1 - 2.00^D A 90^\circ = +1.00(-2.00 \times 1/2) \text{※} = 0.00$$

※ 円柱度数に記号 (符号) をつけたまま 1/2 を乗じて球面度数に加えること。

なお、第 2 種身体検査基準を適用する場合は、両眼の遠見視力の検査は必要ありません。

(記入例)

19 遠見視力																			
裸眼視力						矯正視力						常用眼鏡		屈折度					
右	0	.	2			両眼	右	1	.	0			両眼	右	-	2	.	7	5
左	0	.	0	7		.	左	0	.	9	1	.	0	左	-	4	.	5	0

8. 申請書 20 (中距離視力) は、該当する「適合」「不適合」の欄に○印を記入して下さい。また、矯正眼鏡の使用の有無を確認し、該当欄に○印を記入して下さい。

なお、第 2 種身体検査基準を適用する場合は、検査の必要はありません。

(記入例)

20 中距離視力					
右		左		矯正	
適合	不適合	適合	不適合	有	無
○		○			○